

第 287 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2014 年 3 月 10 日(月) 18 時 00 分~19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 仲村一郎 氏(帝京平成大学健康メディカル学部・教授)

タイトル: リウマチ性骨破壊の病態と治療:ベンチワークからベッドサイドへ

関節リウマチは原因不明の自己免疫疾患で、関節滑膜の異常な増殖により全身の関節が徐々に破壊されていく疾患である。40 歳~60 歳の女性に多く発症し、わが国では約 70 万人の患者がいる。近年、関節リウマチにおける骨破壊の病態が明らかになり、TNF, IL-6 といったサイトカインの関与が示された。これらサイトカインを標的とした抗体製剤・受容体製剤(いわゆる生物学的製剤)の登場はリウマチ治療に劇的な効果をもたらせた。これらの生物学的製剤はリウマチの炎症反応を抑えるのみならず、その骨代謝をも改善することが明らかになり、骨免疫調整薬としての期待が高まりつつある。本講演では、関節リウマチにおける骨破壊の病態と治療について、ベンチワークからベッドサイドという視点で我々自身のデータを紹介しつつ概説する。

講師略歴

1990 年東京大学医学部卒、整形外科入局。同大学院時代を昭和大学歯学部生化学講座(須田立雄先生)、メルク医学研究所(ギデオン・ロダン先生)で過ごす。1998 年東京大学医学博士取得。東京大学医学部整形外科医局長、湯河原厚生年金病院リウマチ科部長、三井記念病院整形外科部長を経て 2013 年より現職。関節リウマチの骨破壊性疾患に基礎と臨床の両面から迫ることがライフワーク。九州歯科大学非常勤講師を兼任。

2000 年日本骨代謝学会 学会奨励賞

2000 年日本整形外科学会 学会奨励賞

2009 年日本骨代謝学会研究奨励賞

日本リウマチ学会 評議員

『リウマチ財団ニュース』編集委員

担当: 硬組織疾患制御再建学講座 高橋 直之